

実は5代目?! 紆余曲折の建築史をたどる

ミニ電子展示「国会議事堂ができるまで」公開

お手元のスマートフォン等からどなたでもご覧いただけます

国立国会図書館は10月2日（金）に、ミニ電子展示「本の万華鏡」第28回「国会議事堂ができるまで」を公開しました。永田町にある白亜の殿堂、国会議事堂が完成するまでの歴史をウェブ上でお楽しみいただけます。

昭和11（1936）年に完成した今の議事堂は、実は5代目の建物であることをご存じでしたか？それまでに4つの仮議事堂があり、うち3つは東京、あと1つは広島に建てられました。どのような経緯でこれらの議事堂ができたのか、資料とともにご紹介します。

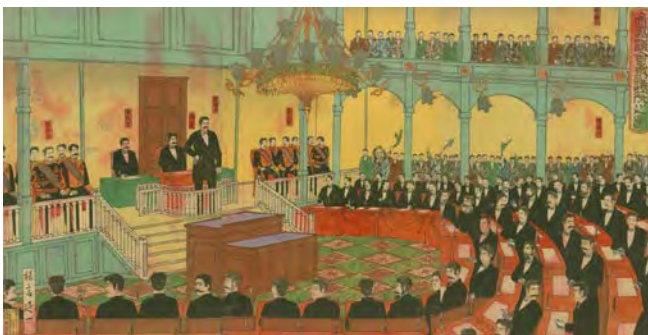
また、議事堂の歴史をうつす貴重な絵図や写真、図面などのビジュアル資料も公開しています。日本の政治の舞台となった議事堂の変遷をぜひご覧ください。



<https://www.ndl.go.jp/kaleido/entry/28/>

■ ご覧いただける資料の一部

（上記 URL から詳細な画像をご覧いただけます。）



▲ 帝国議会の開会

明治23（1890）年11月、第一回帝国議会の開会に合わせて第一次仮議事堂ができました。

（出典：楊齋延一[画]「帝國議會衆議院之圖」，網島亀吉，1890【寄別7-4-2-6】）



▲ 建築設計競技の一等案

今の議事堂の設計競技で一等に選ばれた渡邊福三による設計図案。当初、議事堂の頂上はドーム型で設計されていました。

（出典：洪洋社編『議院建築意匠設計競技図集』，洪洋社，大正9【422-13】）

■ 報道機関の方のお問い合わせ先

国立国会図書館 総務部 総務課 広報係 03-3506-5103（直通）